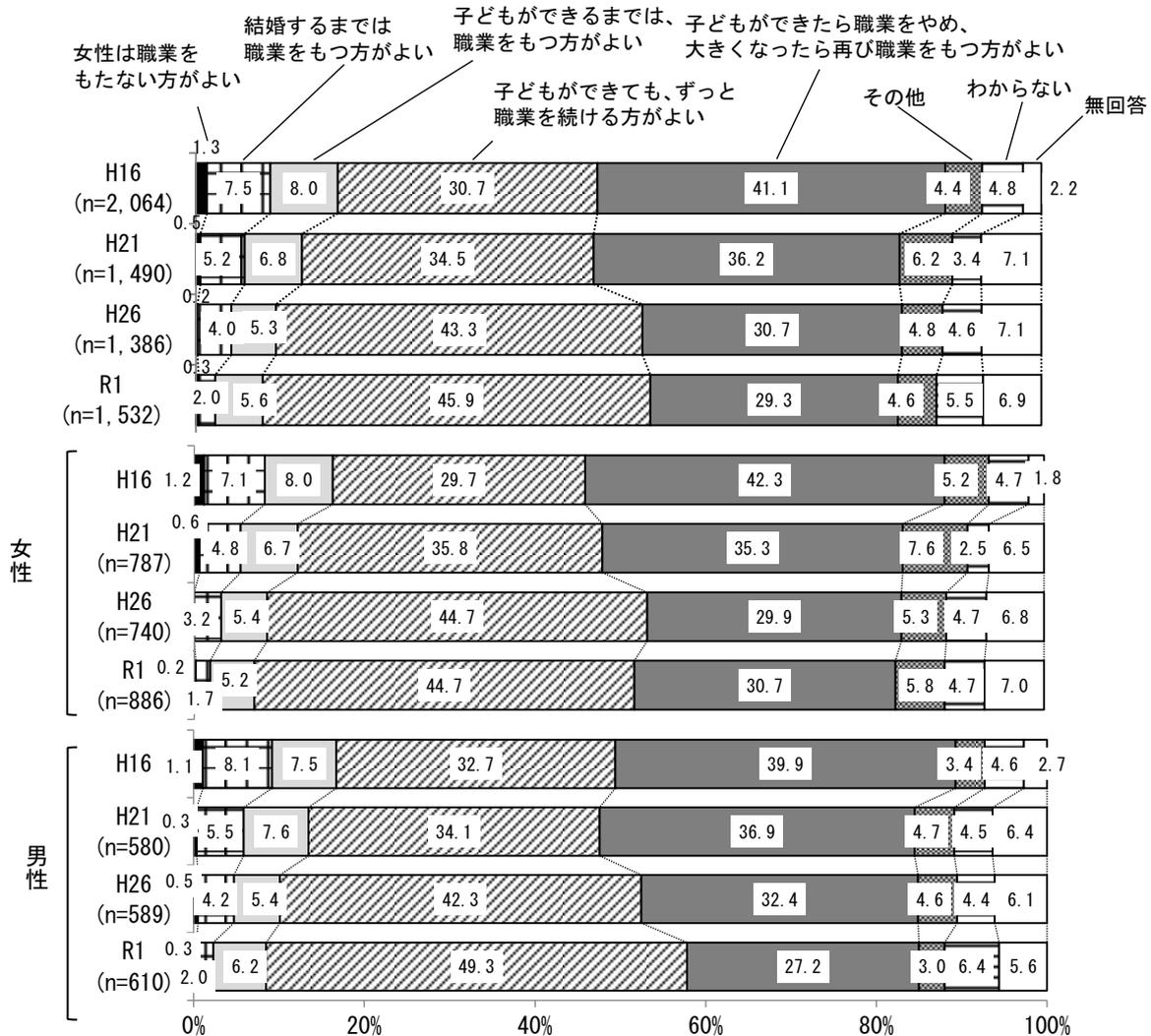


4 女性の就労について

(1) 女性が職業をもつことについての考え方

問9 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。【○印は1つ】

【図表 9-1 女性が職業をもつことについての考え方】



◆「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が最高に

女性が職業をもつことについての考え方について、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が45.9%と最も高く、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(29.3%)、「子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」(5.6%)などの順となっている。

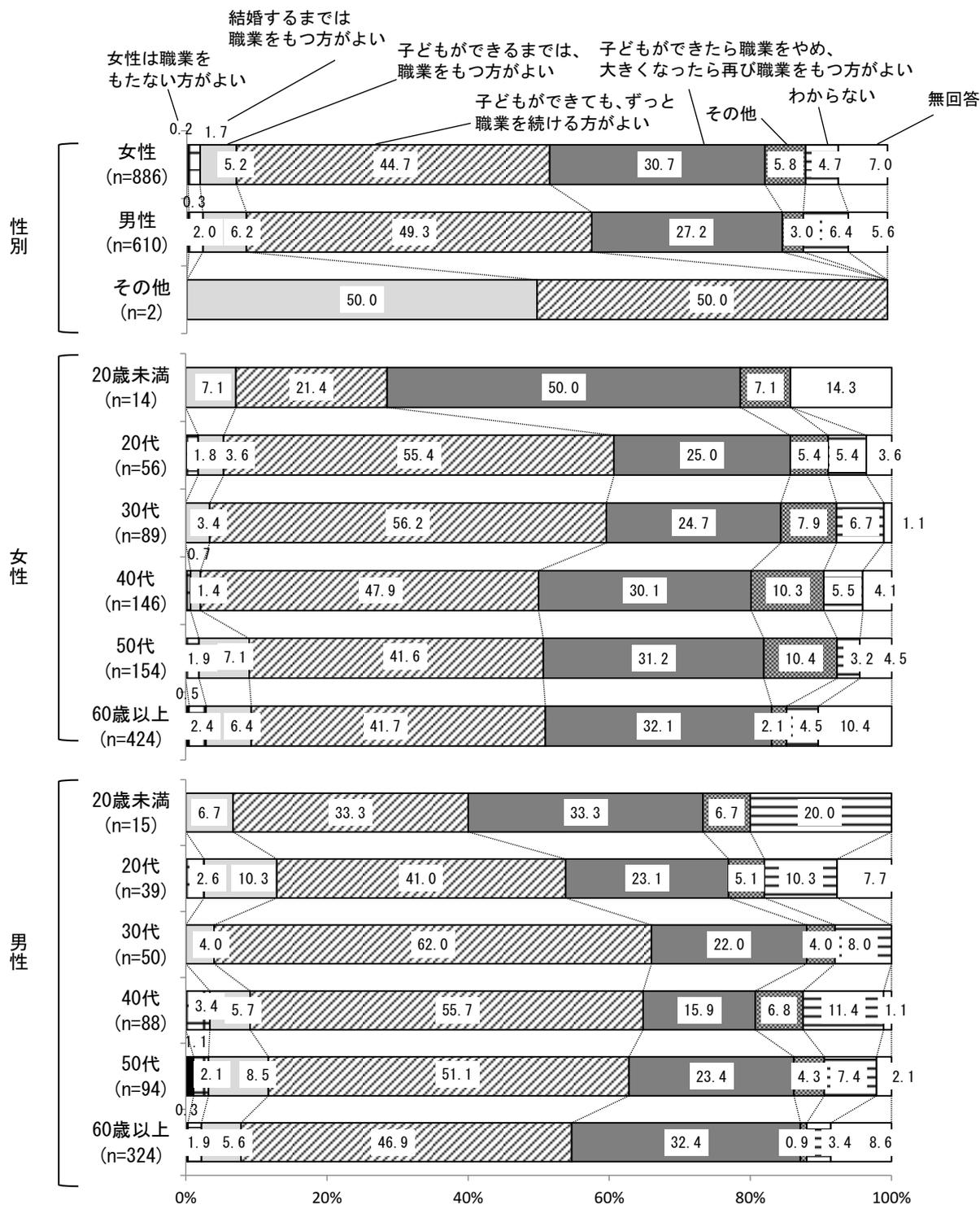
過去の調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」の割合は、H16年から年々上昇傾向にあり、今回調査では5割近くとなっている。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、男女ともに「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」などの順となっている。

性・年齢別にみると、男性30代では「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が6割を超えている。

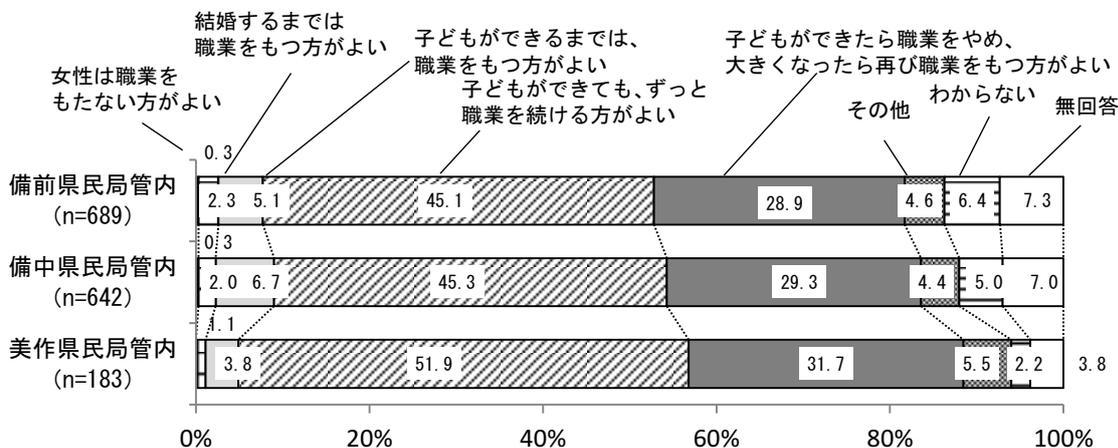
【図表 9-2 女性が職業をもつことについての考え方（性別、性・年齢別）】



<地域別>

すべての地域で、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」が4割を超え最も高く、美作県民管内では5割を超えている。次いで「子どもができれば、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が3割前後となっている。

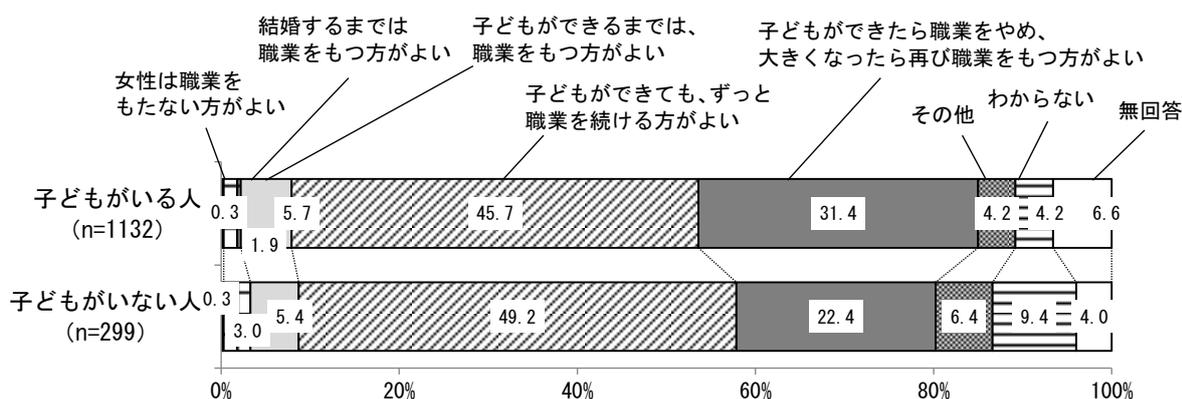
【図表 9-3 女性が職業をもつことについての考え方（地域別）】



<子どもの有無別>

子どもの有無別にみると、子どもがいる人・子どもがいない人ともに「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」がほぼ5割となっている。また、子どもがいる人は子どもがいない人比べて、「子どもができれば、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が9.0ポイント高くなっている。

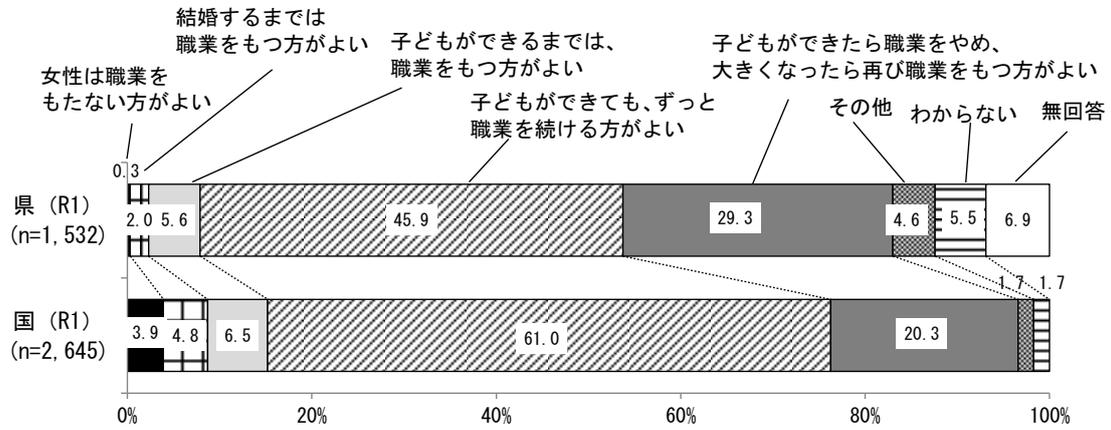
【図表 9-4 女性が職業をもつことについての考え方（子どもの有無別）】



<国調査との比較>

国調査と比べると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は県調査（45.9%）が国調査（61.0%）を15.1ポイント下回っている。

【図表 9-5 女性が職業をもつことについての考え方（国調査との比較）】

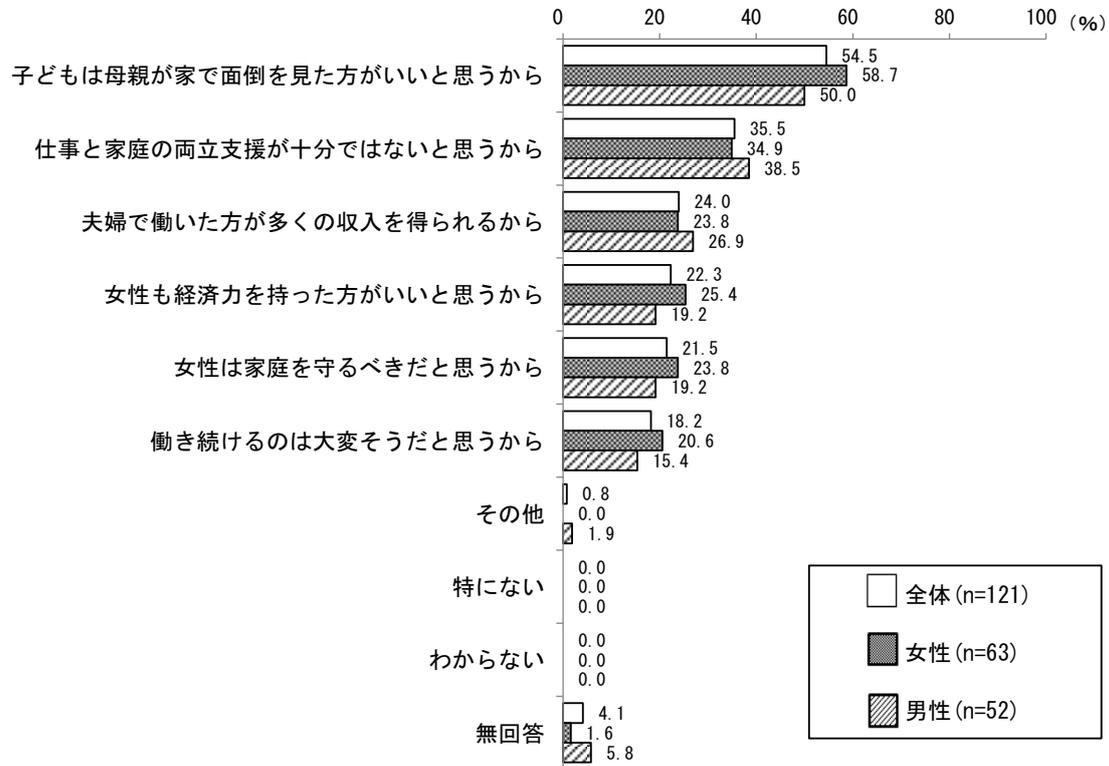


(2) 女性の就労への考え方

問9で「1. 女性は職業をもたない方がよい」、「2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい」、「3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい」と答えた方のみお答えください。

問10-1 それは、なぜですか。【○印はいくつでも】

【図表 10-1-1 女性の就労への考え方】



◆ 「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」、「仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから」などが上位に

女性の子どもを持つまで就労するという考え方について、「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」が54.5%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから」(35.5%)、「夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから」(24.0%)などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」(女性：58.7%、男性：50.0%)が最も高くなっており、女性が男性を8.7ポイント上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに20歳未満、女性20代を除きすべての年代で「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」が上位に入っている。

【図表 10-1-2 女性の就労への考え方（年齢別）】

(単位:%)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	働き続けるのは大変そうだと思うから	100.0				
	20代	女性も経済力を持った方がいいと思うから	66.7	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから		33.3	
				働き続けるのは大変そうだと思うから			
	30代	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	66.7	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから		33.3	
				女性も経済力を持った方がいいと思うから			
	40代	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	66.7				
女性も経済力を持った方がいいと思うから							
夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから							
仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから							
50代	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	64.3	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	28.6	女性も経済力を持った方がいいと思うから	14.3	
				女性も経済力を持った方がいいと思うから			
60歳以上	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	64.1	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	41.0	女性も経済力を持った方がいいと思うから	30.8	
					女性も経済力を持った方がいいと思うから		
男性	20歳未満	女性も経済力を持った方がいいと思うから	100.0				
		働き続けるのは大変そうだと思うから					
	20代	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	80.0	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから		20.0	
		子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから		働き続けるのは大変そうだと思うから			
	30代	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	50.0				
		女性も経済力を持った方がいいと思うから					
仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから							
40代	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	50.0	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	37.5	女性も経済力を持った方がいいと思うから	25.0	
				夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから			
50代	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	72.7	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	45.5	女性も経済力を持った方がいいと思うから	36.4	
				仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから			
60歳以上	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	40.0	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから	28.0	女性も経済力を持った方がいいと思うから	24.0	
				夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから			

<地域別>

すべての地域で、「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」が5割を超え最も高く、美作県民管内では6割を超えている。次いで「仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから」となっている。

【図表 10-1-3 女性の就労への考え方（地域別）】

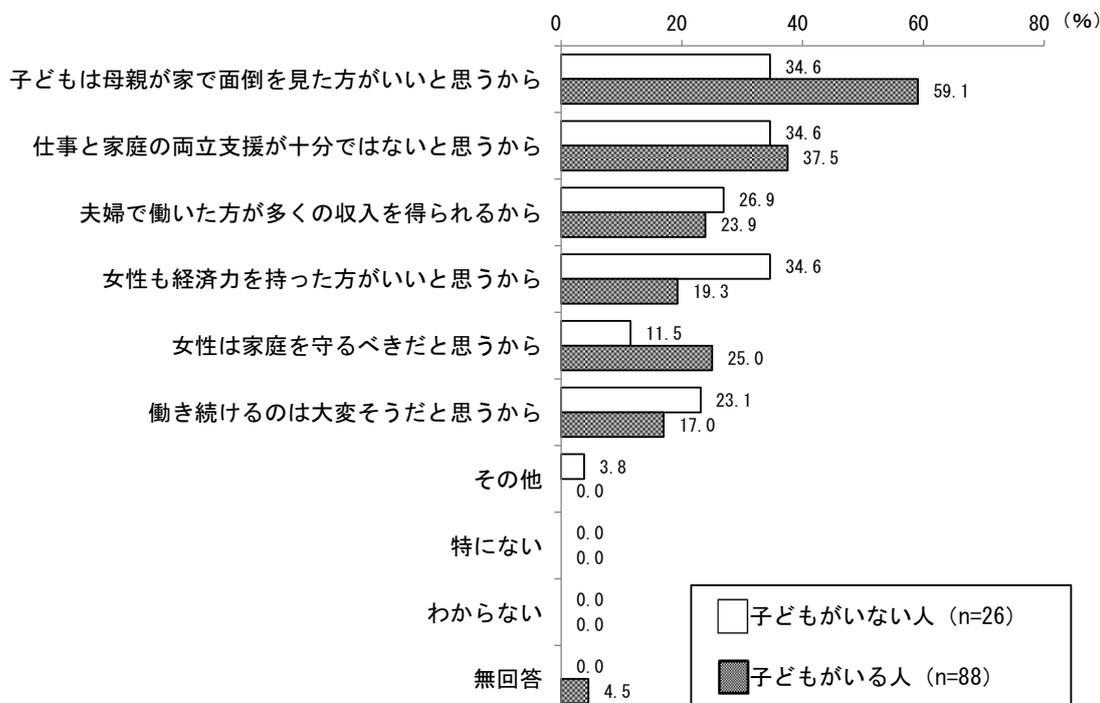
(単位: %)

	備前県民局管内	備中県民局管内	美作県民局管内
1位	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから 52.8	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから 55.2	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから 66.7
2位	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから 41.5	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから 25.9	仕事と家庭の両立支援が十分ではないと思うから 55.6
3位	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから 26.4	女性も経済力を持った方がいいと思うから 24.1	働き続けるのは大変そうだと思うから 33.3

<子どもの有無別>

子どもの有無別にみると、子どもがいる人は、子どもがいない人に比べ、「子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから」が24.5ポイント高くなっており、「女性も経済力を持った方がいいと思うから」が15.3ポイント低くなっている。

【図表 10-1-4 女性の就労への考え方（子どもの有無別）】

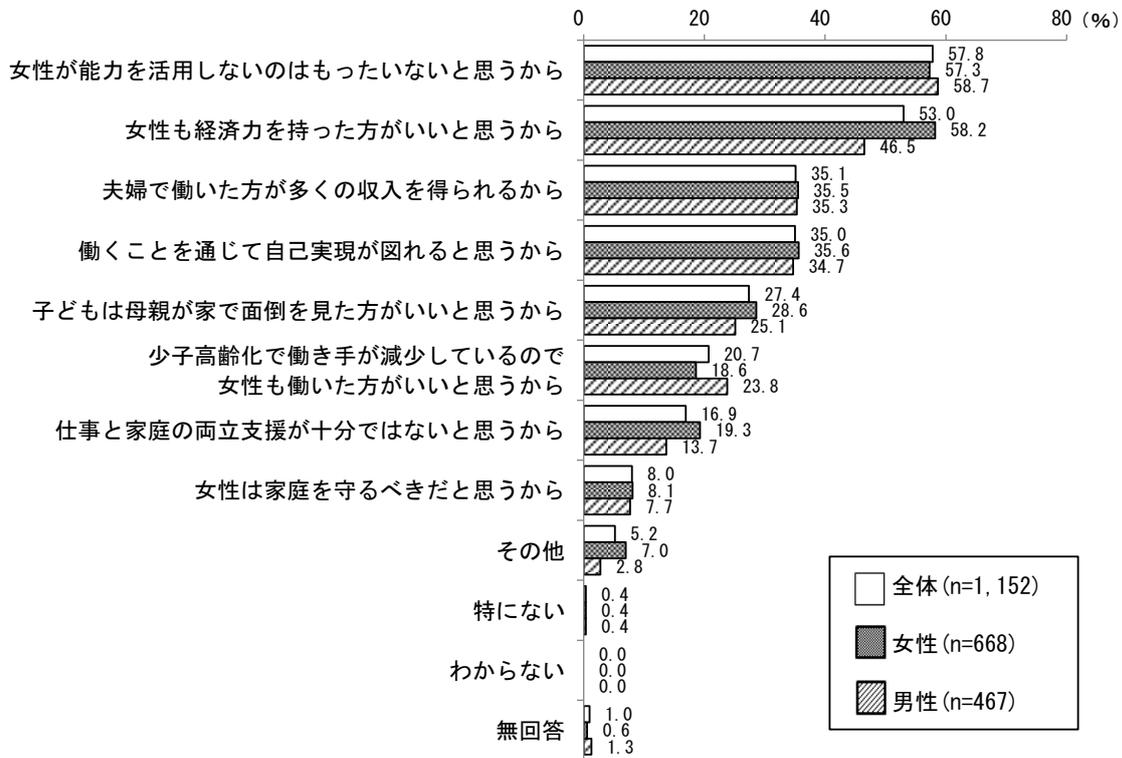


(3) 子どもを持った場合の就労についての考え方

問9で「4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「5. 子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と答えた方のみお答えください。

問10-2 それは、なぜですか。【〇印はいくつでも】

【図表 10-2-1 子どもを持った場合の就労についての考え方】



◆「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」、「女性も経済力を持った方がいいと思うから」が5割超え

女性の子どもを持った場合の就労の考え方について、「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」(57.8%)、「女性も経済力を持った方がいいと思うから」(53.0%) がともに5割を超えている。

性別にみると、男性は、「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」が最も高くなっている。女性は、「女性も経済力を持った方がいいと思うから」が58.2%と最も高くなっており、男性(46.5%)を11.7ポイント上回っている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、女性はすべての年代において「女性も経済力を持った方がいいと思うから」が上位に入っており、男性は「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」が上位に入っている。

【図表 10-2-2 子どもを持った場合の就労についての考え方（年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位	
女性	20歳未満	子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから 夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	60.0	女性も経済力を持った方がいいと思うから	40.0	少子高齢化で働き手が減少している ので女性も働いた方がいいと思うから	30.0
	20代	女性も経済力を持った方がいいと思うから	64.4	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	51.1	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	44.4
	30代	女性も経済力を持った方がいいと思うから	56.9	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	54.2	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	52.8
	40代	女性も経済力を持った方がいいと思うから	57.0	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	55.3	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	44.7
	50代	女性も経済力を持った方がいいと思うから	58.0	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	56.3	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	34.8
	60歳以上	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	62.3	女性も経済力を持った方がいいと思うから	58.8	働くことを通じて自己実現が図れると思うから	33.9
男性	20歳未満	働くことを通じて自己実現が図れると思うから		働くことを通じて自己実現が図れると思うから		働くことを通じて自己実現が図れると思うから	
		子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから		子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから		子どもは母親が家で面倒を見た方がいいと思うから	
		女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから		女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから		女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	
	20代	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	60.0	働くことを通じて自己実現が図れると思うから		夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	44.0
	30代	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	69.0	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	52.4	女性も経済力を持った方がいいと思うから	50.0
	40代	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	57.1	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	55.6	女性も経済力を持った方がいいと思うから	44.4
	50代	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	64.3	女性も経済力を持った方がいいと思うから	44.3	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	40.0
60歳以上	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	56.0	女性も経済力を持った方がいいと思うから	48.6	働くことを通じて自己実現が図れると思うから	33.1	

<地域別>

すべての地域で、「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」が5割を超え最も高くなっている。次いで「女性も経済力を持った方がいいと思うから」となっている。

【図表 10-2-3 子どもを持った場合の就労についての考え方（地域別）】

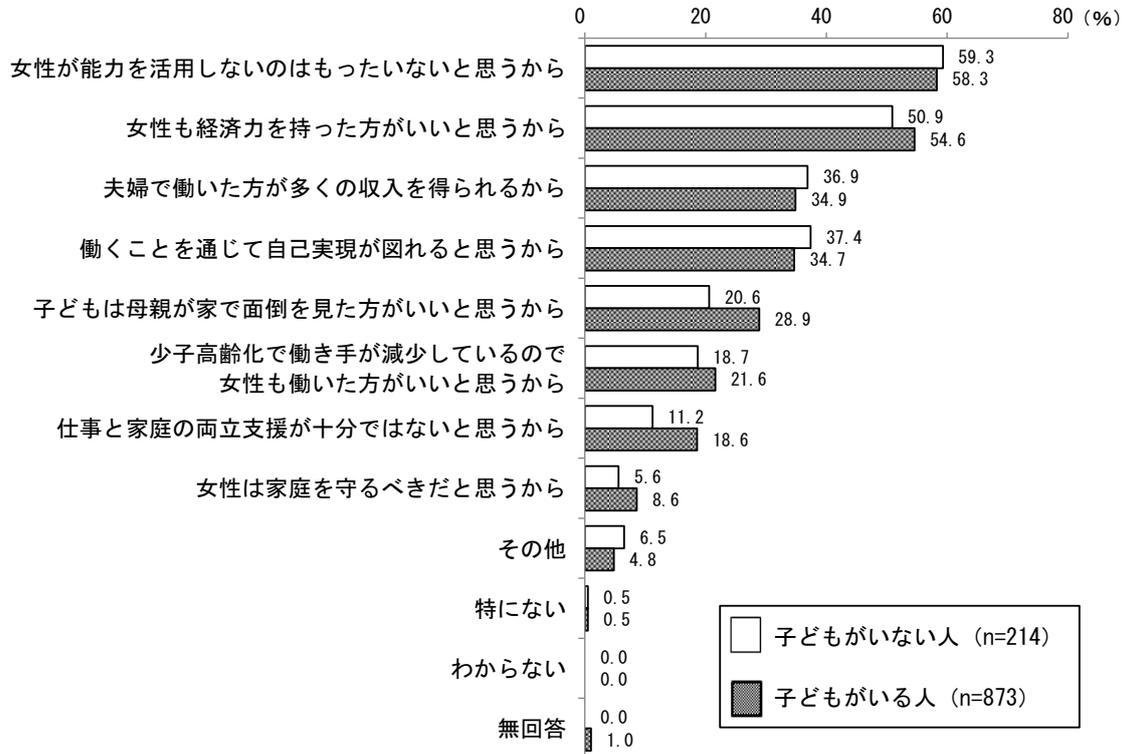
(単位: %)

備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内		
1位	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	60.6	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	53.9	女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから	62.7
2位	女性も経済力を持った方がいいと思うから	53.1	女性も経済力を持った方がいいと思うから	52.6	女性も経済力を持った方がいいと思うから	54.2
3位	夫婦で働いた方が多くの収入を得られるから	37.5	働くことを通じて自己実現が図れると思うから	33.4	働くことを通じて自己実現が図れると思うから	37.3

<子どもの有無別>

子どもの有無別にみると、子どもがいる人・子どもがいない人ともに、「女性が能力を活用しないのはもったいないと思うから」が最も高くなっている。また、子どもがいない人は子どもがいる人と比べて、「子どもは母親が家で面倒を見たほうが良いと思うから」が8.3ポイント低くなっている。

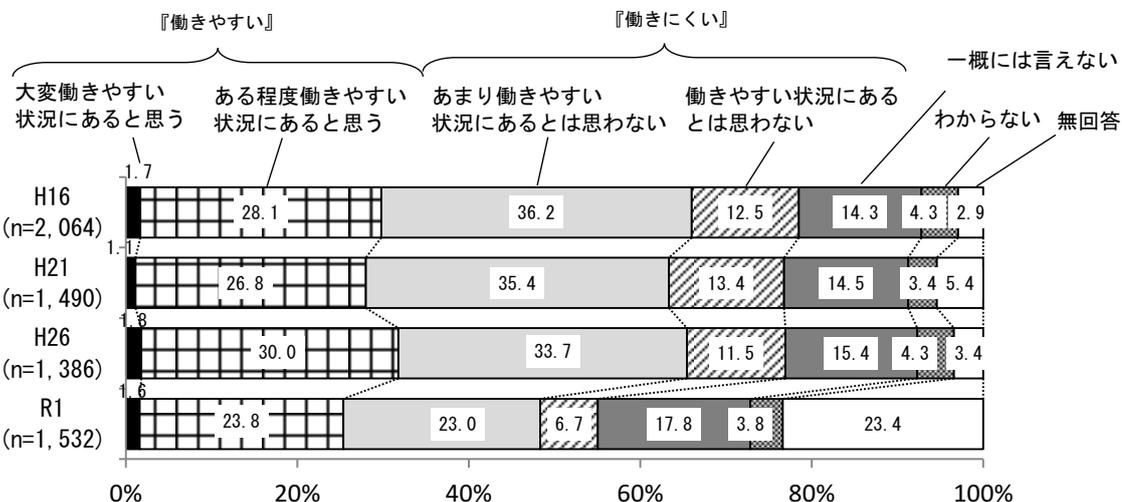
【図表 10-2-4 女性の就労への考え方（子どもの有無別）】



(4) 女性の就労環境の現状評価

問11 あなたは、現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思いますか。【○印は1つ】

【図表 11-1 女性の就労環境の現状評価】



◆ 「ある程度働きやすい状況にあると思う」「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」が拮抗

女性の就労環境の現状評価について、「ある程度働きやすい状況にあると思う」が23.8%と最も高く、次いで「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」(23.0%)、「一概には言えない」(17.8%)などの順となっている。

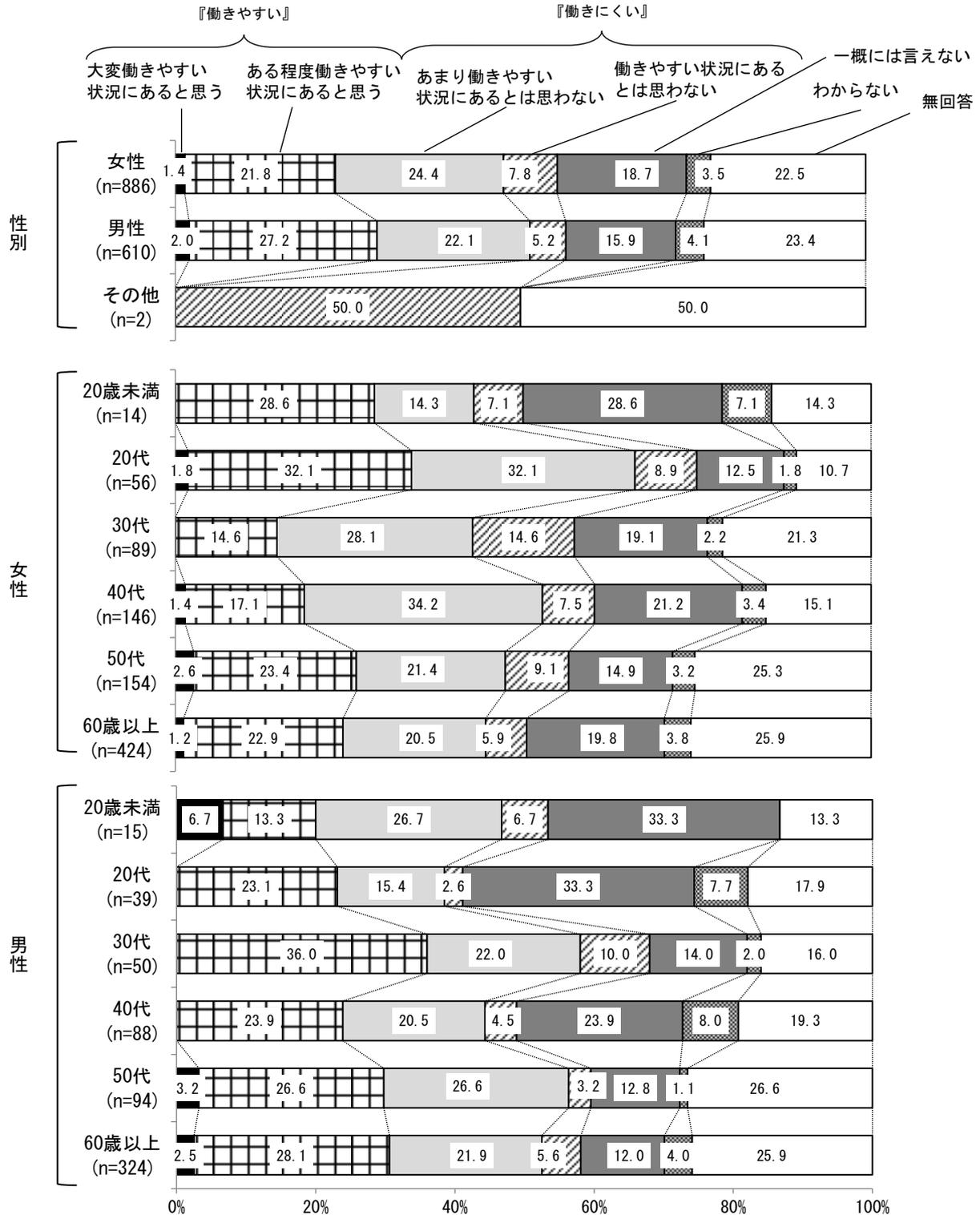
過去の調査と比較すると、『働しやすい』(「大変働きやすい状況にあると思う」と「ある程度働きやすい状況にあると思う」を合わせた割合)は、25.4%と最も低くなっている。一方、『働きにくい』(「働きやすい状況にあるとは思わない」と「あまり働きやすい状況にあるとは思わない」を合わせた割合)も、H26年に比べて低下している。

<性別、性・年齢別>

性別にみると、女性は『働きにくい』(32.2%)、男性は『働きやすい』(29.2%)が最も高くなっている。

性・年齢別にみると、女性20代、30代、40代は『働きにくい』が4割を超えている。また、男性は、『働きやすい』が30代(36.0%)で最も高くなっている。

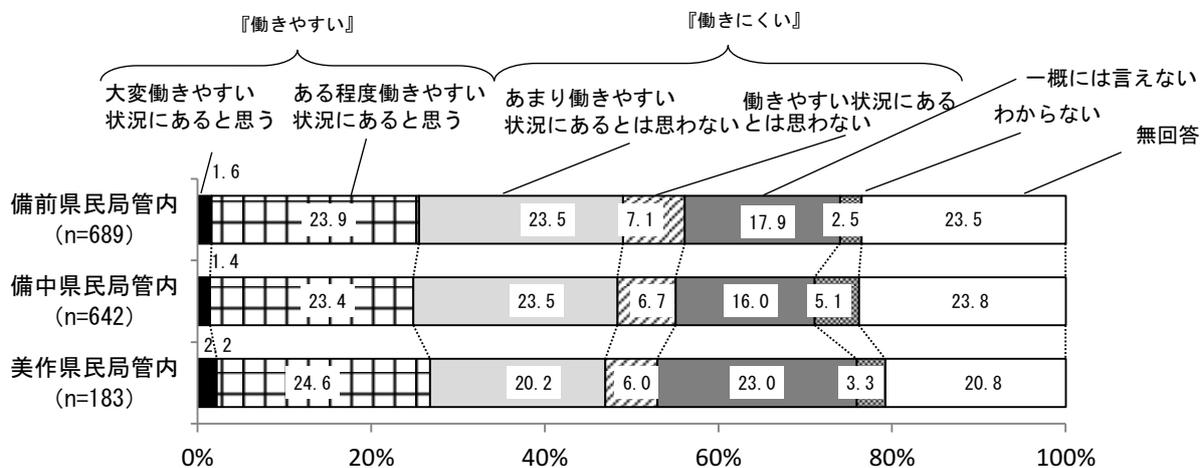
【図表 11-2 女性の就労環境の現状評価(性別、性・年齢別)】



<地域別>

『働きやすい』は美作県民局管内（26.8%）、『働きにくい』は備前県民局管内（30.6%）が最も高くなっている。

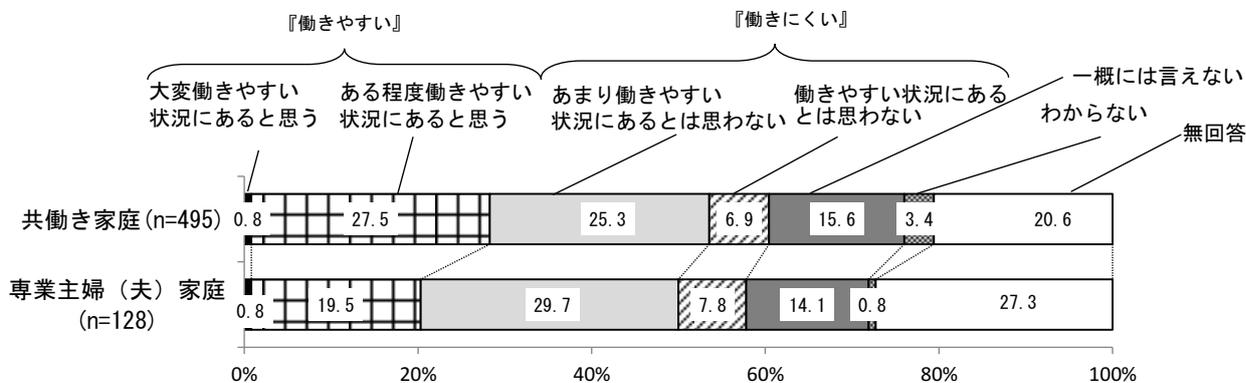
【図表 11-3 女性の就労環境の現状評価（地域別）】



<就労状況別>

就労状況別にみると、共働き家庭は専業主婦（夫）家庭と比べて、『働きやすい』が8ポイント高くなっており、『働きにくい』が5.3ポイント低くなっている。

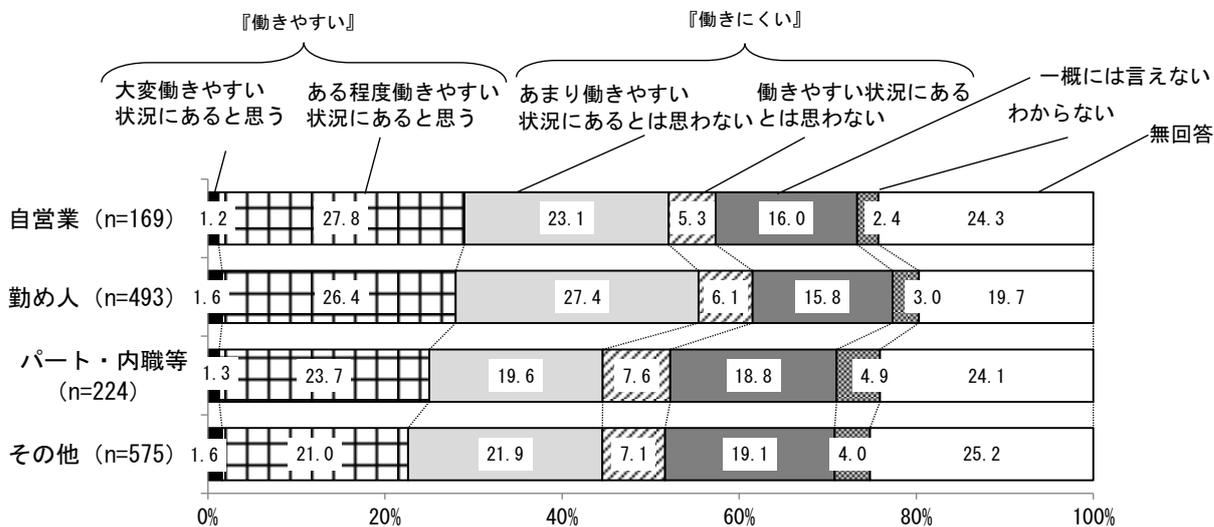
【図表 11-4 女性の就労環境の現状評価（就労状況別）】



<職種別>

職種別にみると、『働きやすい』は自営業（29.0%）が高く、『働きにくい』は勤め人（33.5%）が高くなっている。

【図表 11-5 女性の就労環境の現状評価（職種別）】

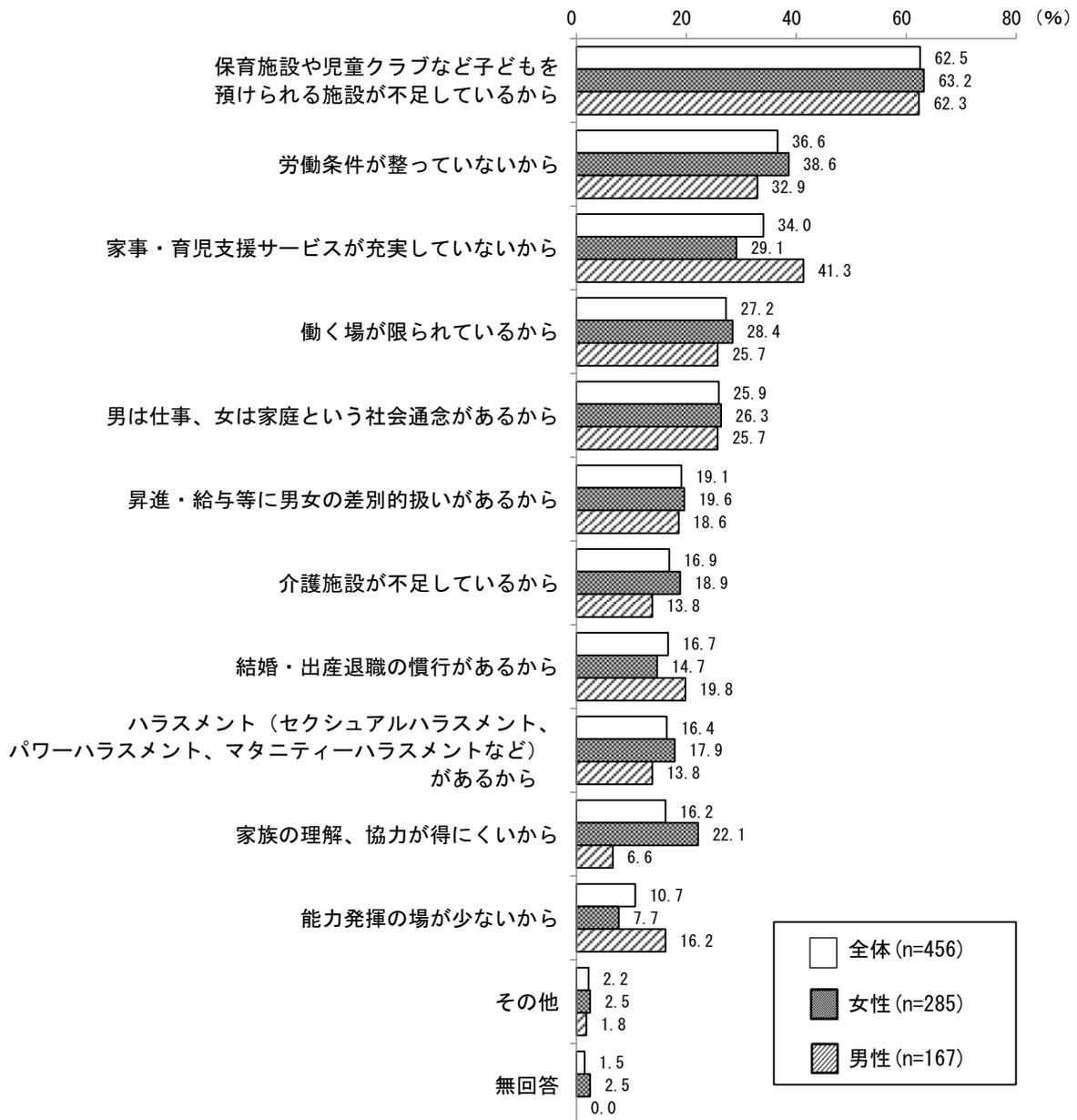


(5) 女性が働きにくい理由

問 11 で、「3. あまり働きやすい状況にあるとは思わない」または「4. 働きやすい状況にあるとは思わない」と答えた方のみお答えください。

問 12 その理由は何ですか。【○印は3つまで】

【図表 12-1 女性が働きにくい理由】



◆ 「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が6割越えで最高

女性が働きにくい理由について、「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が62.5%と最も高く、次いで「労働条件が整っていないから」（36.6%）、「家事・育児支援サービスが充実していないから」（34.0%）などの順となっている。

性別にみると、男女ともに「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」（女性：63.2%、男性：62.3%）が最も高くなっている。

<性・年齢別>

性・年齢別にみると、男女ともに、すべての年代で「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が最も高くなっている。

【図表 12-2 女性が働きにくい理由（性・年齢別）】

(単位: %)

		1位		2位		3位		
女性	20歳未満	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	66.7	働く場が限られているから	33.3	/		
	介護施設が不足しているから							
	家事・育児支援サービスが充実していないから							
	昇進・給与等に男女の差別的扱いがあるから							
	20代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	78.3	労働条件が整っていないから	52.2	家事・育児支援サービスが充実していないから	39.1	
	30代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	63.2	労働条件が整っていないから	52.6	働く場が限られているから	36.8	
40代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	68.9	労働条件が整っていないから	37.7	家事・育児支援サービスが充実していないから	31.1		
50代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	55.3	労働条件が整っていないから	36.2	働く場が限られているから	31.9		
60歳以上	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	60.7	労働条件が整っていないから	33.0	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから	29.5		
男性	20歳未満	働く場が限られているから		40.0		/		
	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから							
	家事・育児支援サービスが充実していないから							
	20代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	100.0	ハラスメント(セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメントなど)があるから	57.1		/	
	男は仕事、女は家庭という社会通念があるから							
	30代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	50.0	労働条件が整っていないから	43.8	結婚・出産退職の慣行があるから	37.5	
40代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	50.0	労働条件が整っていないから	40.9		/		
男は仕事、女は家庭という社会通念があるから								
50代	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	64.3	家事・育児支援サービスが充実していないから	39.3	労働条件が整っていないから	32.1		
60歳以上	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから	65.2	家事・育児支援サービスが充実していないから	46.1	労働条件が整っていないから	31.5		

<地域別>

すべての地域で、「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が最も高くなっている。備前県民局管内は「労働条件が整っていないから」が2位にあがっている。

【図表 12-3 女性が働きにくい理由（地域別）】

(単位: %)

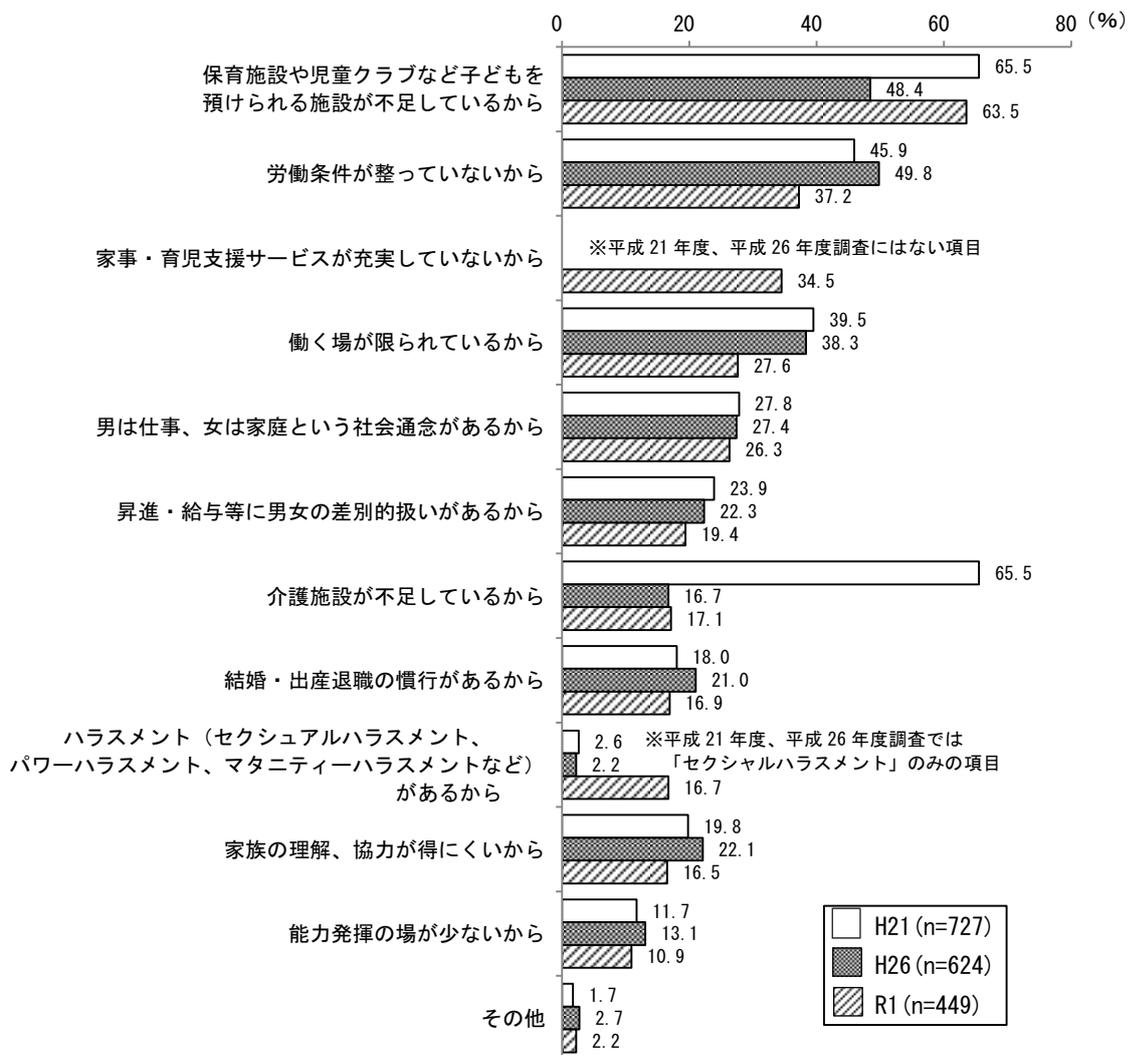
	備前県民局管内		備中県民局管内		美作県民局管内	
1位	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足している	65.9	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足している	59.3	保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足している	62.5
2位	家事・育児支援サービスが充実していないから	37.0	労働条件が整っていないから	36.6	働く場が限られているから	45.8
3位	労働条件が整っていないから	34.1	家事・育児支援サービスが充実していないから	30.9	労働条件が整っていないから	45.8

<過去の調査との比較>

過去の調査と比較すると、「保育施設や児童クラブなど子どもを預けられる施設が不足しているから」が前回調査では5割をきっていたが、今回調査で再び6割超となっており最も高くなっている。

「労働条件が整っていないから」と「働く場が限られているから」は今回調査で大きくおよそ10.0ポイント低くなっている。

【図表 12-4 女性が働きにくい理由（過去の調査との比較）】



※数値を比較するため、無回答を除いて集計しています。